

poolシステム導入と
衣類カバーのマテリアルリサイクルの取り組み
～2025年度 実施報告～

2026年3月
株式会社白洋舎

実施内容

レコテック株式会社が運営する排出からリサイクルまでが一元管理できるシステム「pool※」を株式会社白洋舎 首都圏本部 東京事務所にて2025年4月導入。クリーニングの仕上がり品にかかるプラスチック製衣類カバーについて、従来の焼却処分(サーマルリサイクル)から、マテリアルリサイクルへ移行。



※pool
普段捨てられてしまう「ごみ」をデータ化することによって回収インフラを構築し、リサイクル材料を活用したい製造業者と排出事業者を繋ぎ合わせてトレーサビリティの取れる循環型サプライチェーンをデザインするための仕組み

排出から引き渡しまでの流れ

衣類カバー使用/排出

分別回収

圧縮梱包

pool登録・引き渡し



1年目実績と今後の展開

◆ 1年目実績

- ・対象期間：2025年4月～2026年2月
- ・回収場所：株式会社白洋舎 首都圏本部 東京事務所
- ・回収量：**1,019kg**
うち、**再資源化に向けた引き渡し完了量：725kg**
➡**環境負荷削減効果(CO2削減量)：413.25 kg-CO2***

※算定ロジック

削減量 = (② 焼却した場合の排出量) - (① リサイクルした場合の排出量)

① リサイクル排出量: 再生量 (0.725t) x レコテック算定排出係数 (1.35t-CO2/t)

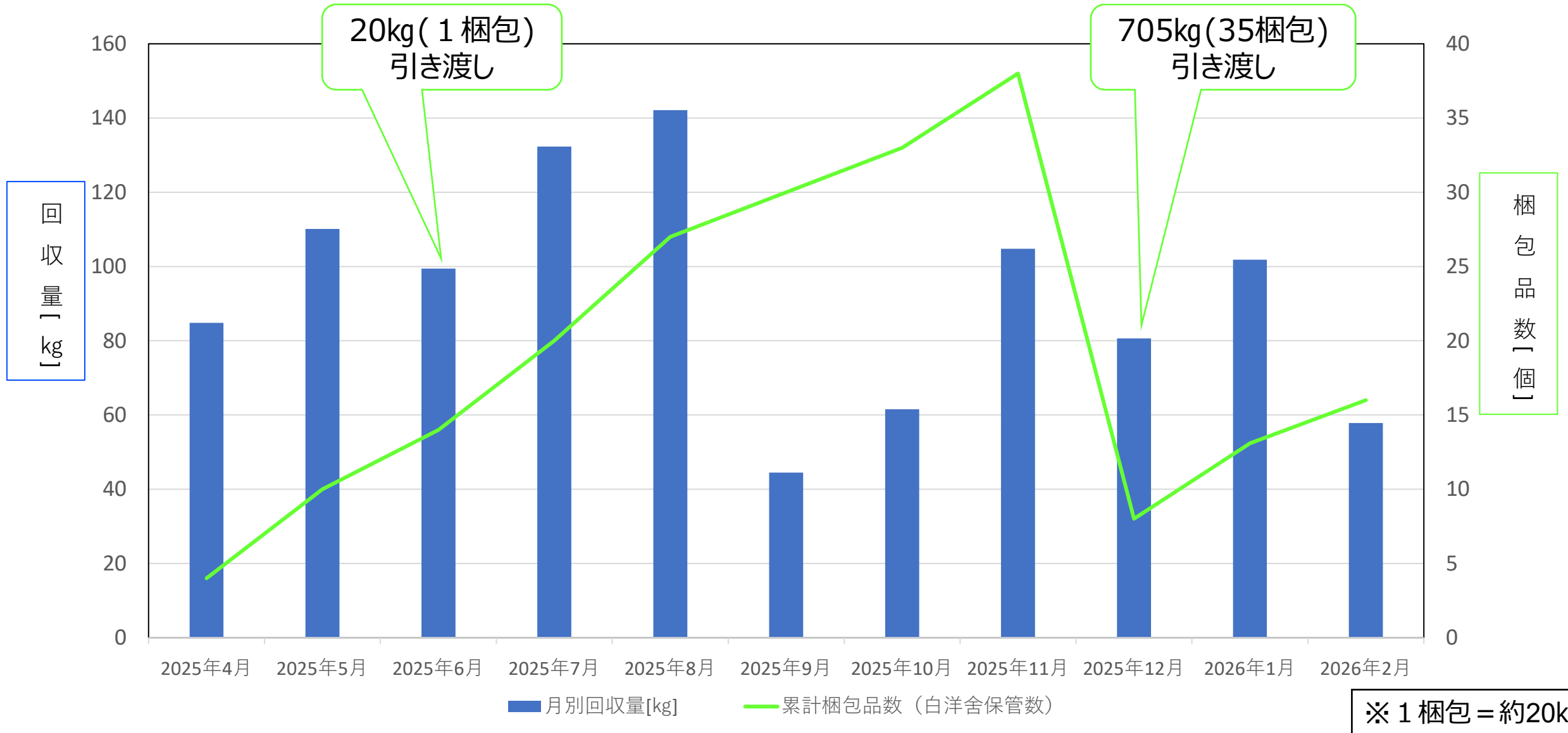
② 焼却排出量: 再生量 (0.725t) x 廃プラ焼却排出係数 (1.92t-CO2/t)

◆ 2年目の展開

- ・包装資材の仕様見直し
→再資源化しやすい素材への変更を検討中
- ・回収拠点の拡大



回収/引き渡し実績



◆自動車部品へのアップサイクル（検証中）

- ・提供先 : 自動車メーカー
※自動車メーカーにて、ペレット加工後、アップサイクルを検証
- ・数量 : 20 kg
- ・進捗状況 : 物性測定およびダンベル成形による評価を実施。
- ・1次フィードバック : コンパウンド（他素材との混練）を行うことで、「非意匠部品（エンジンルーム内や内装の裏側など）」への適用可能性を確認。高度な部材としての再利用に期待がかかっています。



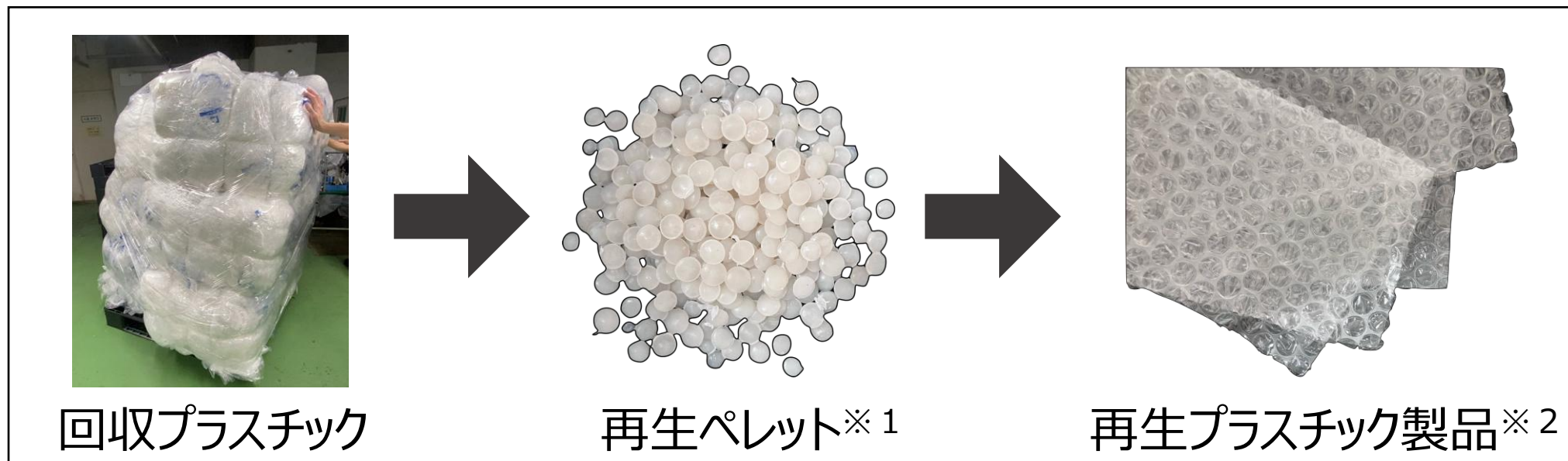
◆包装資材へのマテリアルリサイクル

・提供先 : 株式会社ライブロンコーポレーション

※株式会社ライブロンコーポレーションにてペレット加工後、再生プラスチック製品へ再資源化

・数量 : 705 kg

・用途 : ペレット加工を経て、**梱包用緩衝材などの包装資材原料**として再利用。



※1 再生ペレットは、poolに参画している他事業者の原料と混合して生産。

※2 掲載されている再生プラスチック製品画像は一例です。